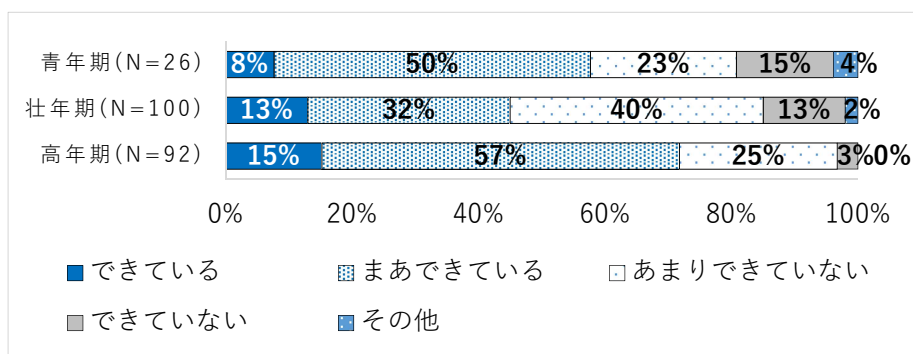


(7) 青年期以降の状況

平成 26 年(2014)度を実施した「鎌倉市健康づくりについての意識調査」では、ストレスを解消できていない人の割合は壮年期が最も高くなっており、令和 2 年(2020)度を実施した「コロナ禍における健康づくりに関するアンケート調査」※では、その傾向がさらに顕著になっていました。

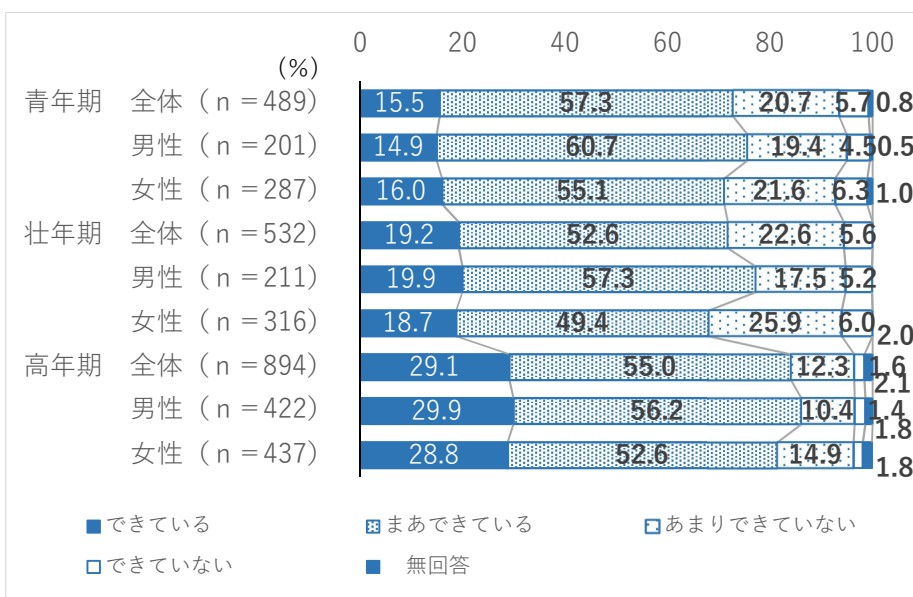
※鎌倉市健康づくり計画の中間評価のために令和 2 年(2020 年)度に市民アンケートを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響下での調査となるため、実施を見送りました。参考資料として令和 2 年度に実施した「コロナ禍における健康づくりに関するアンケート調査」を掲載しています。

参考：ストレスを解消できていますか。(ひとつだけに○)(令和 2 年)



出典：コロナ禍における健康づくりに関するアンケート調査(令和 2 年)

参考：ストレスを解消できていますか。(ひとつだけに○)(平成 26 年)



出典：鎌倉市健康づくりについての意識調査(平成 26 年)